

2009年3月期 決算説明会

2009年5月14日

株式会社 藤商事

2009年3月期 決算説明会

1. 2009年3月期 決算概要
2. 当社の取り組みと今後の課題
3. パチンコ・パチスロ市場の見通し
4. 2010年3月期 通期業績計画

1 . 2009年3月期 決算概要

パチンコ遊技機



©松竹

C R 鞍馬天狗
(4月発売)



Jurassic Park is a trademark and copyright of Universal Studios and Amblin Entertainment, Inc. Licensed by Universal Studios Licensing LLLP. All rights reserved.

C R ジュラシックパークMAX
(7月発売)



©東映

C R 暴れん坊将軍3
(9月発売)



C R テリーチューンズ
マイティマウス (10月発売)

TM & © 2008 Viacom International Inc. All Rights Reserved.
TM & © 2008 CBS Operations Inc. MIGHTY MOUSE and related designs and logos are trademarks of CBS Operations Inc. All Rights Reserved.



C R ゴースト ニューヨークの幻
(11月発売)

TM & © 2008 Paramount Pictures. All Rights Reserved.



©東北新社

C R 宇宙戦艦ヤマト2
(2009年3月発売)



マークの付いているパチンコ遊技機は、手軽に安く遊べるタイプを含みます

パチスロ遊技機



©福本伸行/竹書房

パチスロ アカギ
(9月発売)

決算ハイライト

販売台数 対前期比較



(販売台数は千台未満切捨て)

販売台数	2008年3月期		2009年3月期		対前期比
	販売台数	構成比	販売台数	構成比	
パチンコ遊技機	146千台	99.3%	194千台	97.0%	+48千台
パチスロ遊技機	1千台	0.7%	5千台	3.0%	+4千台
計	147千台	100.0%	200千台	100.0%	+52千台

内 訳	2008年3月期		2009年3月期	
	機 種 名	販売台数	機 種 名	販売台数
パチンコ 遊技機	C R 宇宙戦艦ヤマト	84千台	C R 暴れん坊将軍3	70千台
	C R かつぱ伝説	13千台	C R ゴースト ニューヨークの幻	42千台
	C R プロジェクトA	12千台	C R ジュラシックパークMAX	33千台
	C R 島倉千代子の千代姫七変化	12千台	C R 宇宙戦艦ヤマト2	27千台
	C R エイリアンVSプレデター	10千台	C R 鞍馬天狗	15千台
	C R 千昌夫～北国の春～	6千台	C R テリーチューンズマイティマウス	3千台
	C R ジュマンジ	4千台	その他機種	1千台
	その他機種	1千台		
合 計	146千台	合 計	194千台	
パチスロ 遊技機	パチスロ ブルース・リー	1千台	パチスロ アカギ	5千台

決算ハイライト 損益計算書



対前年同期比較

単位：百万円、%

	2008年3月期		2009年3月期		構成比増減	備考
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	40,479	100.0	56,839	100.0	---	<p>売上高（前期比+163億） パチンコ遊技機販売台数 前期 146千台 当期 194千台 前期比 +48千台</p> <p>パチンコ本体販売比率 前期 76% 当期 49% 前期：新枠投入による本体比率上昇</p> <p>各利益・利益率の改善 販売台数増加による増益効果 部材等、廃棄ロスの減少</p>
売上原価	25,436	62.8	33,651	59.2	3.6 P	
売上総利益	15,043	37.2	23,188	40.8	+3.6 P	
販管費	11,531	28.5	15,033	26.5	2.0 P	
営業利益	3,511	8.7	8,155	14.4	+5.7 P	
営業外収益	136	0.3	174	0.3	---	
営業外費用	57	0.1	87	0.2	+0.1 P	
経常利益	3,591	8.9	8,242	14.5	+5.6 P	
特別利益	34	0.1	30	0.1	---	
特別損失	303	0.8	21	0.0	0.8 P	
税前純利益	3,321	8.2	8,252	14.5	+6.3 P	
税金費用	1,263	3.1	3,175	5.6	+2.5 P	
当期純利益	2,058	5.1	5,076	8.9	+3.8 P	

決算ハイライト 貸借対照表



前期末 対 当期末比較

単位：百万円、%

	2008年3月期末		2009年3月期末		金額増減	備 考		
	金額	構成比	金額	構成比				
流動資産	35,611	71.1	41,307	73.9	+ 5,696	流動資産		
現金及び預金・有価証券	22,404	44.7	28,291	50.6	+ 5,887	現金預金	前期末 21,303	当期末 26,190
商品及び製品	99	0.2	123	0.2	+ 24	有価証券	1,101	2,101
売上債権	8,864	17.7	6,943	12.4	1,921	計	22,404	28,291
その他	4,243	8.5	5,946	10.6	+ 1,703			
固定資産	14,466	28.9	14,559	26.1	+ 93	流動比率	前期末 329%	当期末 330%
有形固定資産	10,016	20.0	9,417	16.9	599	当座比率	289%	281%
投資その他資産	4,222	8.4	4,952	8.9	+ 730			
資産合計	50,078	100.0	55,866	100.0	+ 5,788			
流動負債	10,811	21.6	12,512	22.4	+ 1,701	流動負債		
仕入債務	9,226	18.4	6,978	12.5	2,248	その他	未払法人税・消費税等 3,174百万円	
その他	1,585	3.2	5,533	9.9	+ 3,948			
固定負債	1,283	2.6	1,391	2.5	+ 108	R O E	前期末 5.5%	当期末 12.7%
負債合計	12,094	24.2	13,903	24.9	+ 1,809			
純資産合計	37,984	75.8	41,962	75.1	+ 3,978			

前期末 対 当期末比較

単位：百万円

	2008年3月期末	2009年3月期末	金額増減	2009年3月期末の内訳						
営業活動による キャッシュ・フロー	3,939	9,860	+ 5,921	税引前純利益 8,252百万円 減価償却費 2,836百万円						
投資活動による キャッシュ・フロー	4,020	3,890	+ 130	有価証券取得・償還 2,265百万円 有形固定資産取得 1,645百万円						
フリー キャッシュ・フロー	81	5,970	+ 6,051	有価証券取得・償還分を加味した場合、 2009年3月期末のFCFは8,235百万円						
財務活動による キャッシュ・フロー	1,461	1,082	+ 379	配当金の支払による減少						
現金及び現金同等物の 増減額	1,542	4,887	+ 6,429	<table> <tr> <td></td> <td>前期</td> <td>当期</td> </tr> <tr> <td>自己資本比率</td> <td>75.8%</td> <td>75.1%</td> </tr> </table>		前期	当期	自己資本比率	75.8%	75.1%
	前期	当期								
自己資本比率	75.8%	75.1%								
現金及び現金同等物の 期首残高	22,845	21,303	1,542							
現金及び現金同等物の 期末残高	21,303	26,190	+ 4,887							

決算ハイライト

通期業績修正について



単位:百万円、%

	当初計画		平成20年10月17日 発表		平成21年3月23日 発表		実績		備考
パチンコ遊技機	160,000台		180,000台		194,000台		194,443台		下記3機種の販売好調による
パチスロ遊技機	3,000台		7,000台		7,000台		5,635台		発売機種数 計画2機種 実績1機種 COBRA THE SLOT 翌期4月発売
売上高	44,000	100.0	51,000	100.0	56,700	100.0	56,839	100.0	販売台数の増加 CRジュラシックパークMAX 話題性の高いスペックを搭載 盆商戦に向けたタイムリーな市場投入
営業利益	4,400	10.0	6,200	12.2	7,800	13.8	8,155	14.4	CR暴れん坊将軍3 大型版權シリーズ第3弾
経常利益	4,500	10.2	6,300	12.4	7,880	13.9	8,242	14.5	CRゴースト ニューヨークの幻 恋愛映画をモチーフにした商品性
当期純利益	2,750	6.3	3,800	7.5	4,700	8.3	5,076	8.9	利益率の上昇 販売台数増加による増益効果 部材等、廃棄ロスの減少 液晶等のリユース効果
1株当たり 当期純利益	10,786円	-	14,904円	-	18,434円	-	19,912円	-	

決算ハイライト 配当予想修正について



	2009年3月期 1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	年 間
前回予想 (平成20年5月15日発表)	2,000円	2,000円	4,000円
今回修正予想 (平成21年3月23日発表)	2,000円	2,500円	4,500円
修正額	-	+500円	+500円

	実 績			計 画
	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期
1株当たり当期純利益	19,382円	8,073円	19,912円	20,395円
1株当たり配当金	4,000円 (上場記念配当 500円含む)	4,000円 (特別配当 500円含む)	4,500円 (普通配当)	4,500円 (普通配当)
配当性向	20.6%	49.5%	22.6%	22.1%

当期業績などを勘案し、1株当たり期末配当を500円増額

継続した安定配当を重視し、2010年3月期 1株当たり配当金は、前期と同額を計画

2 . 当社の取り組みと今後の課題

2009年3月期 各課題の達成状況



販売計画の着実な達成

パチンコ遊技機 期初の通期台数計画（16万台）を大幅に上回る

パチスロ遊技機 発売機種 of 翌期繰越などにより、修正計画を下回る

利益率の向上

経常利益率 14.5%（前期 8.9% 対前期比 5.6 ポイント改善）

部品共通化・部材廃棄の低減

販売台数増加とリユース活用による相乗効果

瞬発力ある部材調達・生産体制の構築

部材調達リードタイムの短縮化

「CR暴れん坊将軍3」の短期量産対応により、7万台の販売台数を確保

2010年3月期 対処すべき課題

安心してお客様に導入いただける品質ブランドの確立
機能性・耐久性を満たす製品品質の追求

「ヒト味違う」発想による商品力の向上

新規性・新鮮味あるゲームシステム・演出の開発

ユーザーの視点に立った商品性分析・検証による機種開発の強化

業績計画の着実な達成

- | | |
|----------------------|------------------------|
| a) 販売計画の必達 | 開発～販売迄のトータル的なプロモーション戦略 |
| b) 利益率の向上 | リユース・リードタイム・コスト戦略 |
| c) 開発計画の必達 | 商品性向上と納期管理の徹底 |
| d) 瞬発力ある部材調達・生産体制の構築 | さらなる効率化の推進 |

2010年3月期 事業別方針

パチンコ遊技機事業 発売予定機種数 7 機種 販売台数計画 20万台

シリーズ化を見据えた商品力あるタイトル機種（看板機種）の創出
各投入機種の商品性底上げ・1機種当たり販売台数の向上
効果的なタイミングでの新機種の世界投入

パチスロ遊技機事業 発売予定機種数 3 機種 販売台数計画 6 千台

市場水準以上の商品性を備えた機種開発
有力開発協力会社との提携強化

3 . パチンコ・パチスロ市場の見通し

パチンコ・パチスロ市場の推移



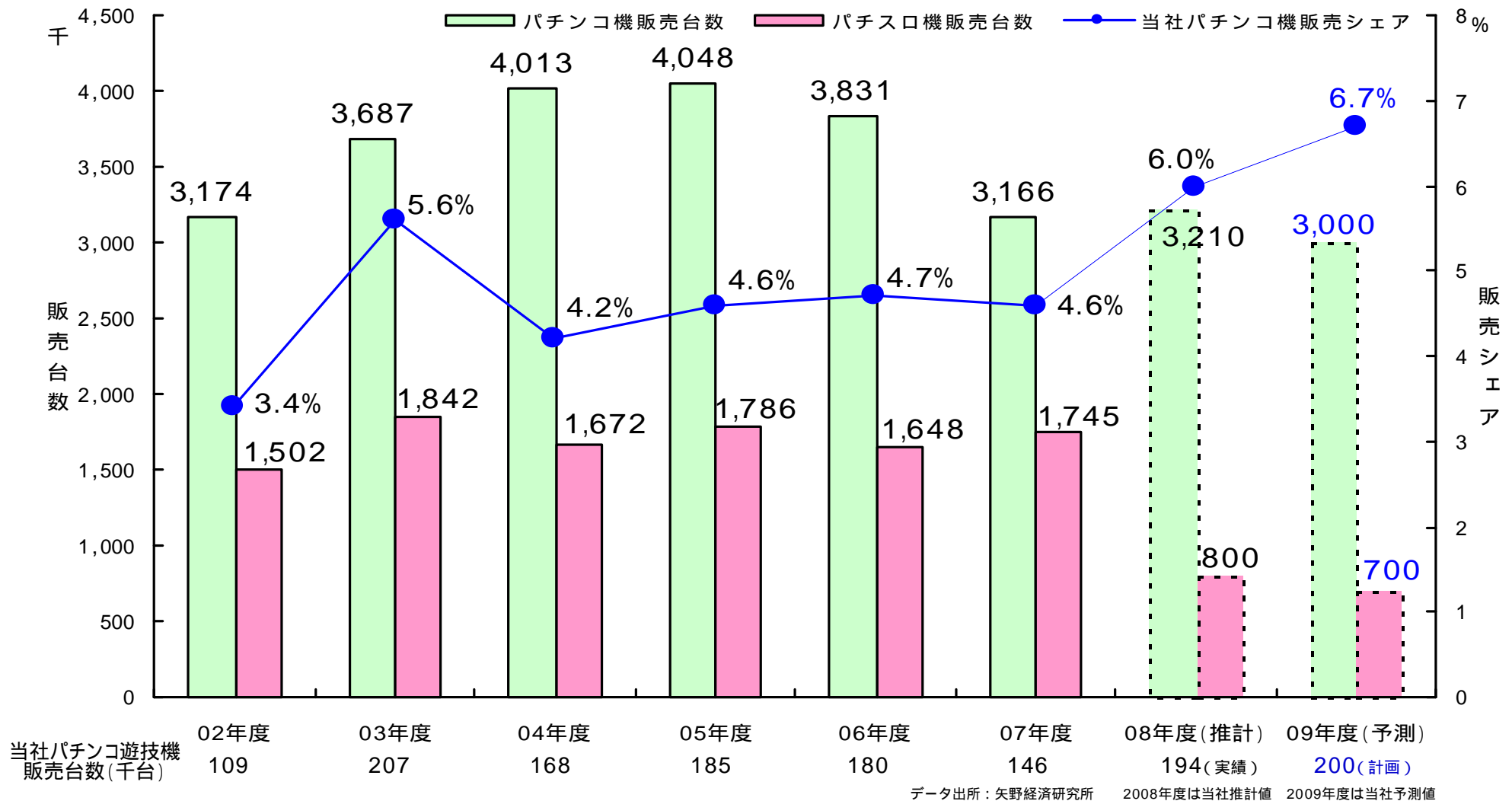
項 目		2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
参加人口（万人）		1,740	1,790	1,710	1,660	1,450	-
貸玉料（兆円）		29.6	29.4	28.7	27.4	23.0	-
ホ ー ル 軒 数	パチンコ機 設置店	14,695	13,844	13,163	12,588	12,039	11,800
	パチスロ機等 専門店	1,381	1,773	2,002	2,086	1,546	1,137
	合 計	16,076	15,617	15,165	14,674	13,585	12,937
設置台数（千台）	パチンコ （アレンジ含む）	3,231	3,082	2,963	2,934	2,955	3,077
	パチスロ	1,661	1,887	1,936	2,003	1,636	1,449
販売台数（千台）	パチンコ	3,687	4,013	4,048	3,831	3,166	3,210 （当社推計）
	パチスロ	1,842	1,672	1,786	1,648	1,745	800 （当社推計）

出所：警察庁（ホール軒数・設置台数）・社会経済生産性本部『レジャー白書2008』（参加人口・貸玉料）・矢野経済研究所『パチンコ産業白書』（販売台数）
2008年の参加人口・貸玉料は、2009年7月末頃発表の見込み

遊技機市場の販売台数推移



遊技機の市場販売台数と当社パチンコ販売台数シェアの推移（2002年度～2009年度）



4 . 2010年3月期 通期業績計画

2010年3月期 通期業績計画

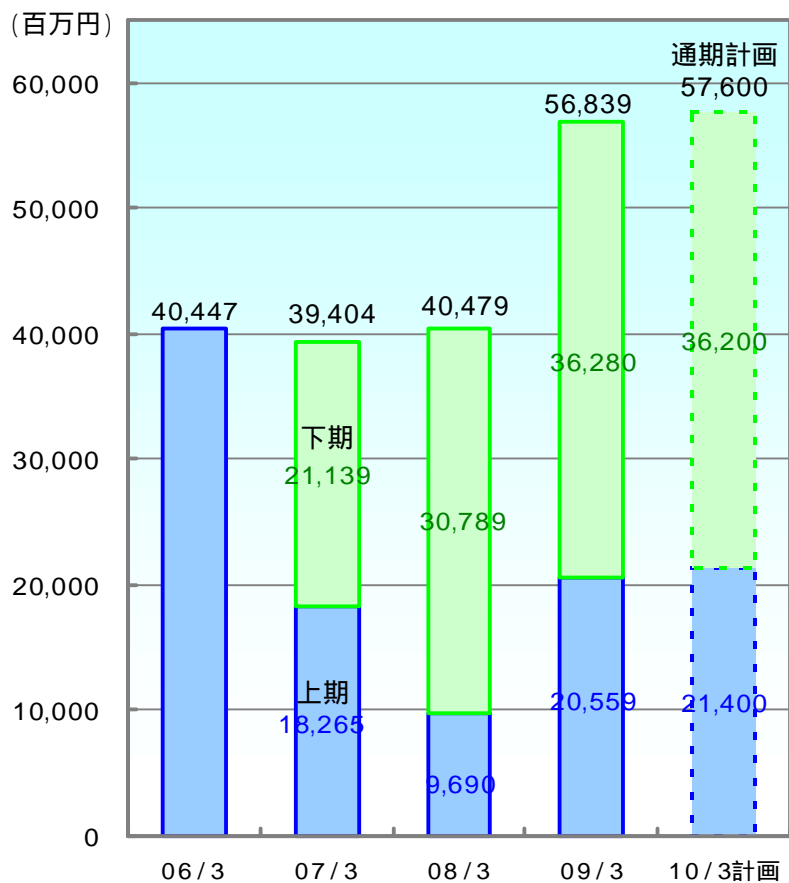


単位：百万円 販売台数は千台未満切捨て

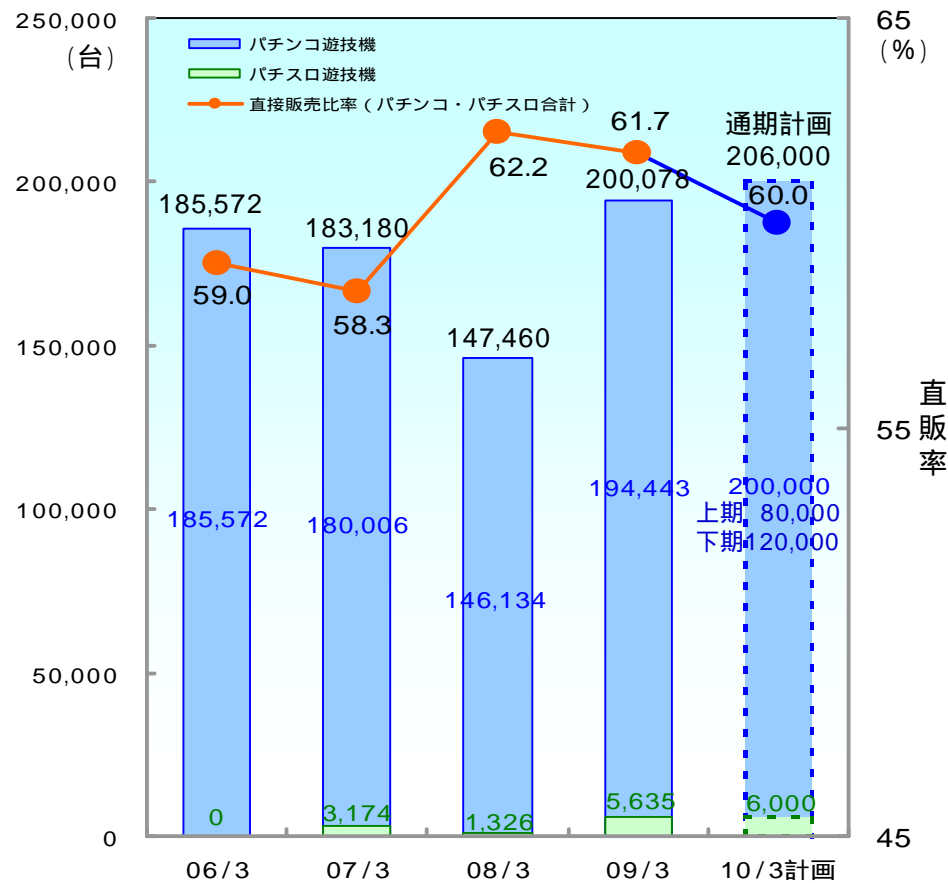
項目	2009年3月期 実績		2010年3月期 計画		対前期比 増減
発売機種数・販売台数	7機種	200千台	10機種	206千台	+6千台
パチンコ	6機種	194千台	7機種	200千台	+6千台
パチスロ	1機種	5千台	3機種	6千台	+1千台
売上高	56,839	100.0%	57,600	100.0%	+761
営業利益	8,155	14.4%	8,300	14.4%	+145
経常利益	8,242	14.5%	8,400	14.6%	+158
当期純利益	5,076	8.9%	5,200	9.0%	+124
1株当たり当期純利益	19,912円		20,395円		+483円
1株当たり配当金	4,500円		4,500円		-
配当性向	22.6%		22.1%		0.5P

業績推移 売上高・販売台数等

売上高



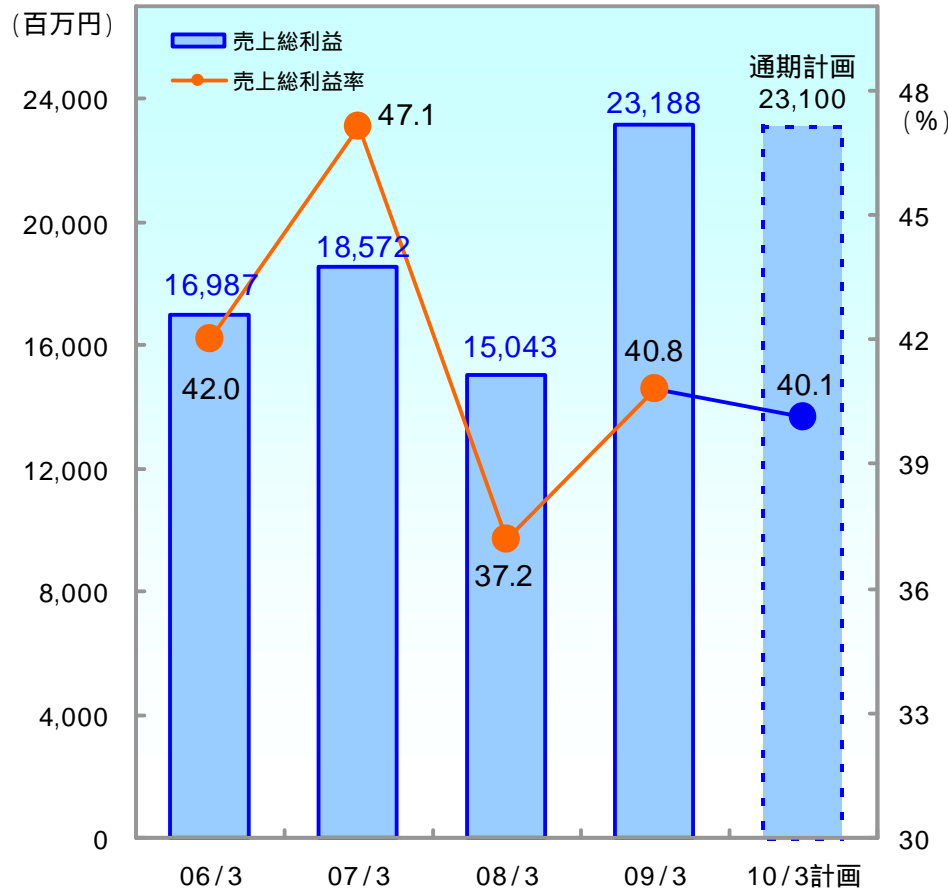
販売台数・直接販売比率



パチンコ遊技機	6	8	7	6	7
パチスロ遊技機	0	2	1	1	3
投入機種数計	6	10	8	7	10

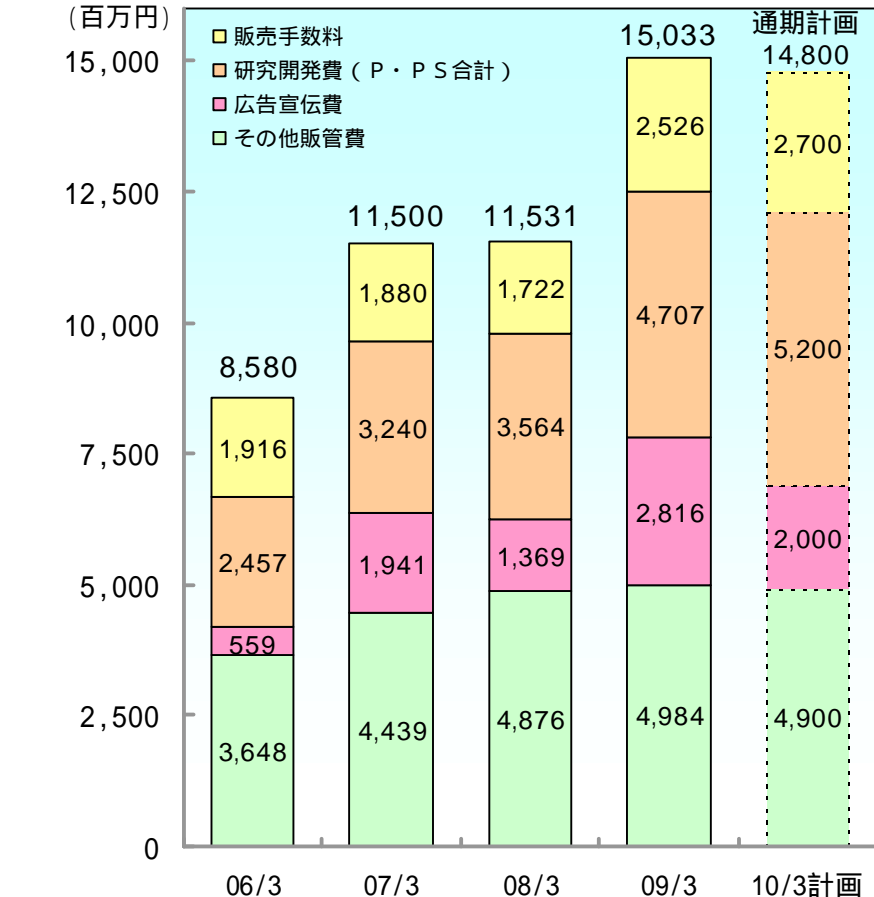
業績推移 売上総利益・販管費

売上総利益(率)の推移



	06/3	07/3	08/3	09/3	10/3計画
全社人員	312名	358名	367名	372名	382名
営業人員	159名	186名	184名	186名	190名
開発人員	85名	102名	114名	115名	117名

販管費(率)・主要経費の推移



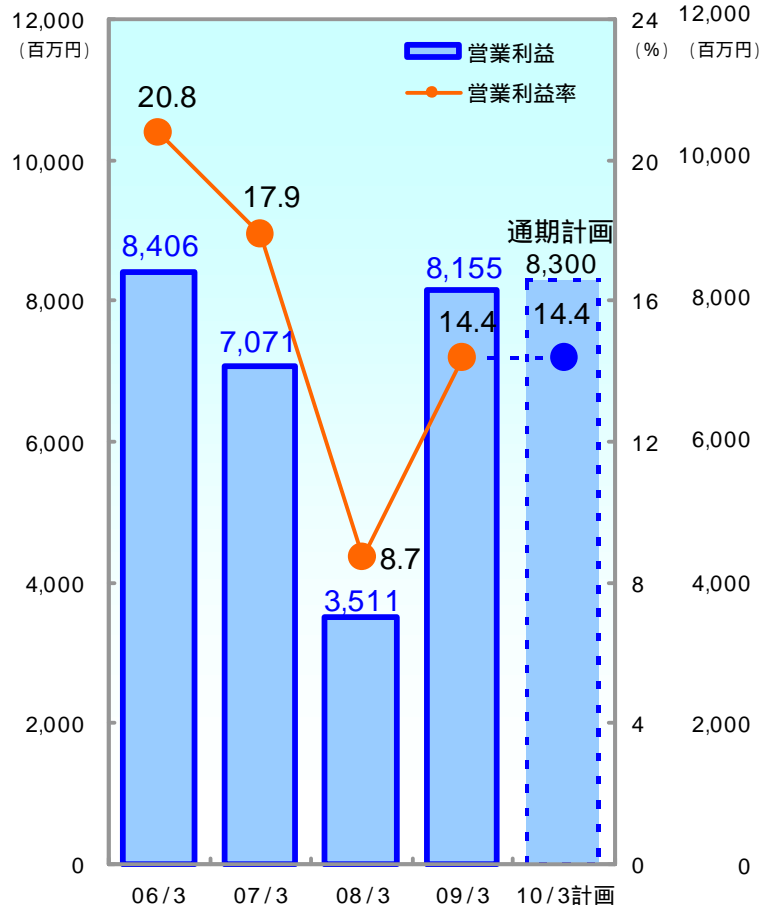
	06/3	07/3	08/3	09/3	10/3計画
販管比率	21.2%	29.2%	28.5%	26.5%	25.7%
手数料率	4.7%	4.8%	4.3%	4.4%	4.7%
広告宣伝費率	1.4%	4.9%	3.4%	5.0%	3.5%
開発費率	6.1%	8.2%	8.8%	8.3%	9.0%

各比率は、売上高に対する比率

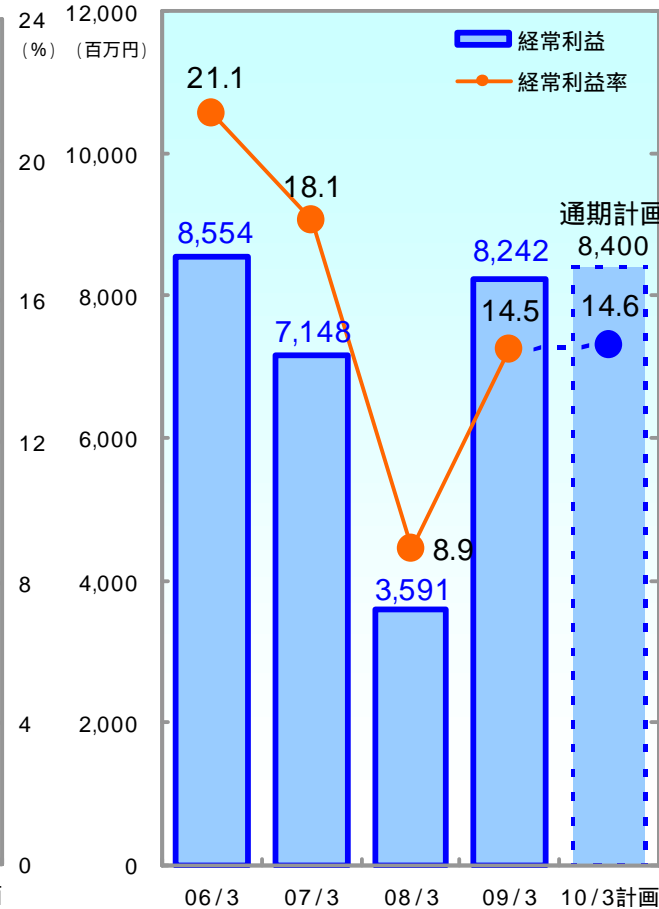
業績推移 営業利益・経常利益・当期純利益



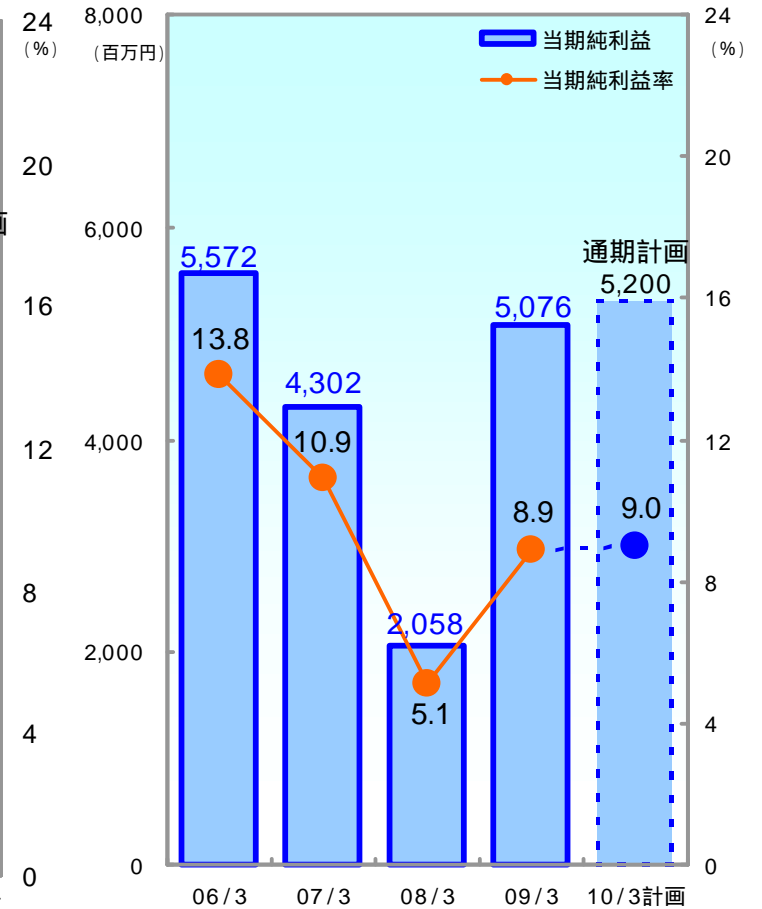
営業利益(率)の推移



経常利益(率)の推移



当期純利益(率)の推移



参考資料

会社基本情報



本社外観

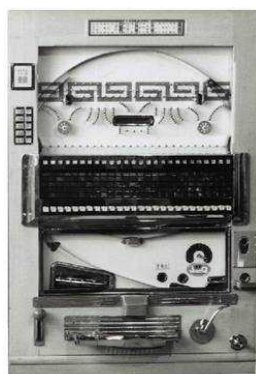
社名	株式会社 藤商事
設立	1966(昭和41)年10月
代表者名	代表取締役社長 松元 邦夫
資本金	32億8千1百万円 (2009年3月31日現在)
売上高	568億3千9百万円 (2009年3月期)
従業員数	372名 (2009年3月31日現在)
事業内容	パチンコ遊技機、パチスロ遊技機の 開発・製造・販売

主な沿革



- 1966年10月 じゃん球遊技機の開発、製造および貸付を目的とし、株式会社藤商事を設立
- 1973年10月 アレンジボール遊技機の製造および販売を開始
- 1989年11月 パチンコ遊技機事業に参入。パチンコ遊技機の製造および販売を開始
- 1992年 4月 アレンジボール遊技機 「アレジン」、「エキサイト」ヒット
- 2003年 9月 パチスロ遊技機事業に参入。パチスロ遊技機の生産および販売を開始
- 2003年11月 「CRサンダーバード2」 パチスロ遊技機「サンダーバード3」発売
- 2004年 3月 「CR暴れん坊将軍」 発売
- 2007年 2月 ジャスダック証券取引所に上場（2007年11月 J-Stock銘柄に選定）
- 2007年11月 「CR宇宙戦艦ヤマト」 発売
- 2008年 9月 「パチスロ アカギ」 発売

当社遊技機の変遷



じゃん球遊技機



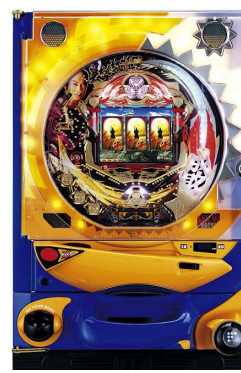
アレンジボール遊技機
エキサイト



パチンコ遊技機
CRサンダーバード2



パチスロ遊技機
サンダーバード3



パチンコ遊技機
CR暴れん坊将軍

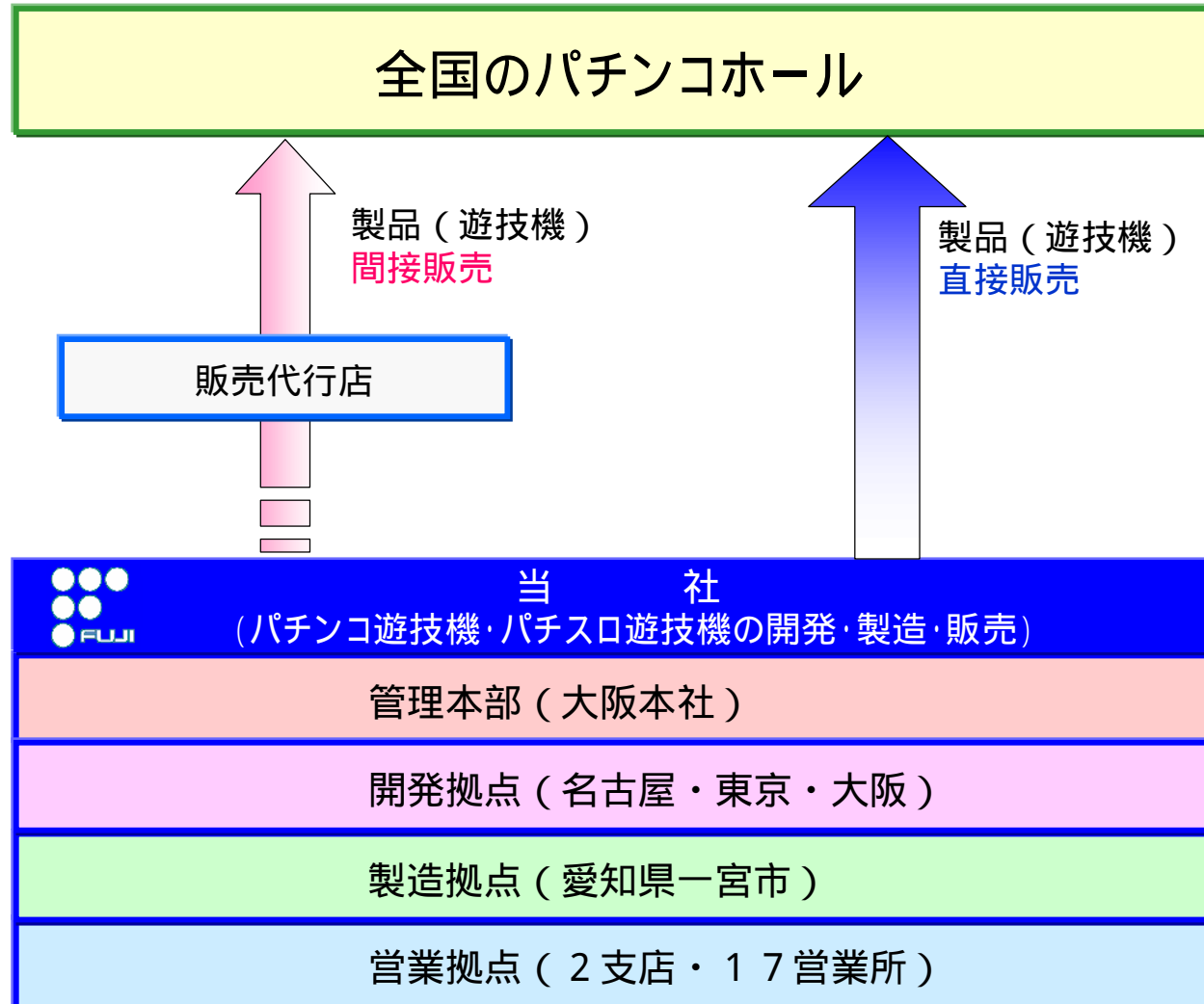


パチンコ遊技機
CR宇宙戦艦ヤマト



パチスロ遊技機
パチスロ アカギ

事業概要



(株) J F J (非連結子会社) (株) サンタエンタテイメント (持分法非適用関連会社)

地域展開の状況

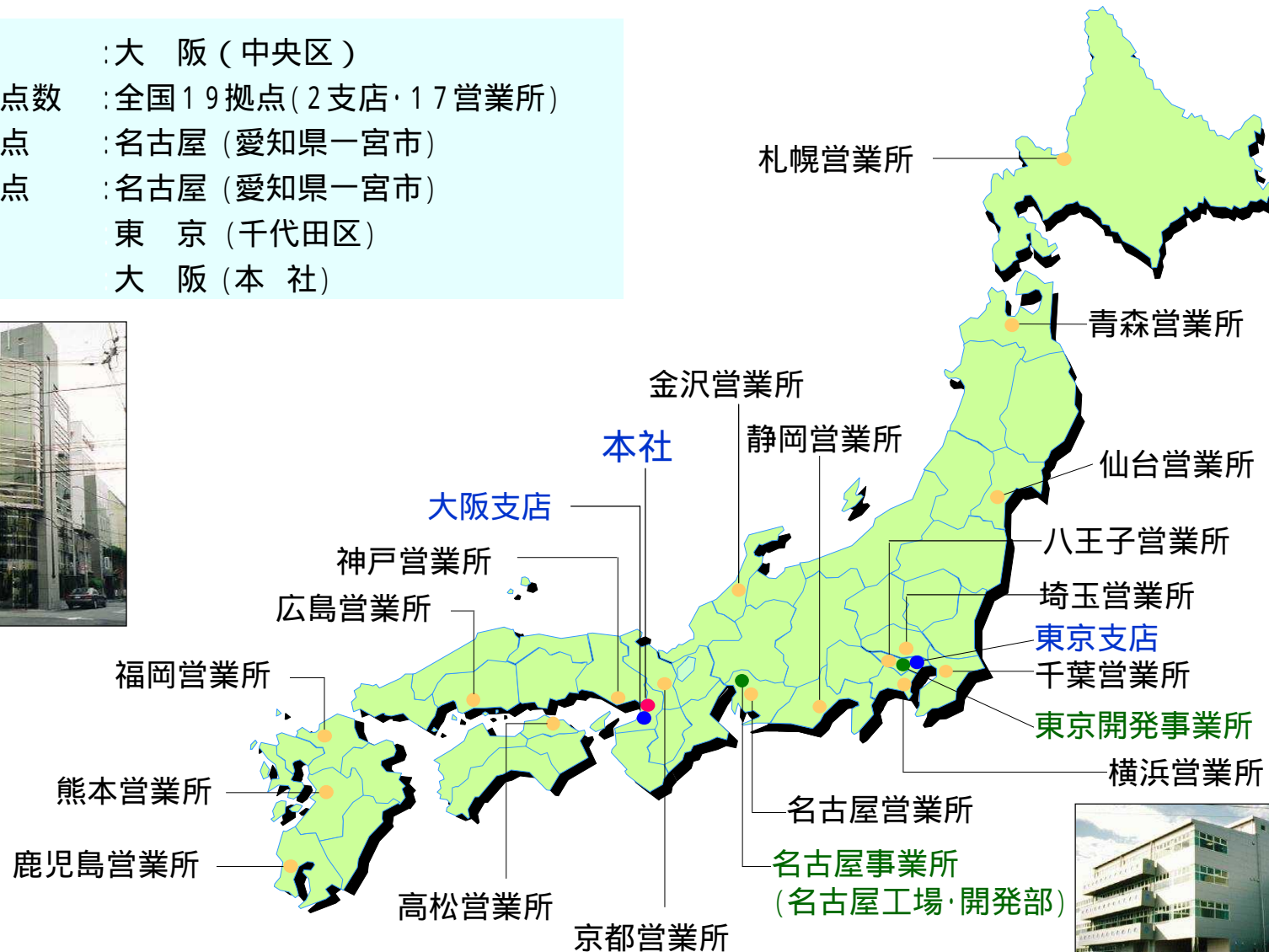
本社 : 大阪 (中央区)
 営業拠点数 : 全国19拠点 (2支店・17営業所)
 製造拠点 : 名古屋 (愛知県一宮市)
 開発拠点 : 名古屋 (愛知県一宮市)
 東京 (千代田区)
 大阪 (本社)



大阪支店



東京支店



名古屋事業所

お問い合わせ先

株式会社 藤商事 経営企画室

TEL:06-6949-0323 FAX:06-6949-3174

当事業年度から「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

本資料は、当社の事業内容等をご説明するために、現時点で入手できる情報に基づき作成したものです。本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害・問題等に関しては、当社は一切責任を負うものではありませんので、ご了承下さい。

今後の業績については、様々な要因によって計画数値と異なる結果となる可能性があります。投資を行う際には、投資家ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。